

具体項目

美術

観点		発行者	開隆堂出版	光村図書	日本文教出版
1 内容を踏まえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長	(1) 教育基本法の理念や第二期長期教育振興基本計画の趣旨・	<p>（1）</p> <p>容育及教 がび科 構目「の 成指教特 とす育質 とな人の なつ間目 て像標 いて」 るかの育 成教育 に資す本 す目的 内教</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年の表紙には、青森県出身の作家による「あおり犬（モニュメント）」を、2・3年の表紙には、渋谷駅にある「明日の神話（壁画）」を掲載し、美術と地域や生活とのかかわり及び美術と平和との関連を認識できるよう配慮されている。</li> <li>・ 巻頭の「美術って、何だろう」（1年）、「他人と違っていること、他人と同じであること」（2・3年）では、共に美術を通して学ぶことの大切さを考えることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年の表紙には、「Animal(木彫)」を、2・3年の表紙には、「ピレネーの城（油絵）」を掲載し、美術における「発想」の大切さを発達段階に応じて認識できるよう工夫されている。</li> <li>・ 両巻共に巻頭見開きには、「うつくしい！」と題する詩と美術作品及び言語活動を促すキーワードを掲載することで、生徒が「美しさ」について考えたり、感じたことを話し合ったりすることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表紙には、「出会いと広がり（1年）」「学びの深まり（2・3年上巻）」「美の探求（2・3年下巻）」という各学年のテーマを掲げ、立体や絵画、建築など様々な分野の作品を掲載することで、学習への興味を高めるよう配慮されている。</li> <li>・ 巻頭では、各学年のテーマに沿った絵画や工芸品を掲載することで、感動や作品の意図、創り出す喜びなどを理解できるよう、発達段階に応じて工夫されている。</li> </ul>
	(2) 郷土・自然・歴史・文化や地域の特色について理解を深め、伝統文化や歴史を学ぶ	<p>（2）</p> <p>が習史郷 にに土 生自「 か然長 せに崎 せるつ 題いの 材て伝 扱解統 わを・ れ深文 てめ化 いるや る学歴</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「デザインで伝える」（2・3年）では、県内の生徒によるポスター作品が掲載されており、郷土長崎に対する思いや願いを感じ取ることができる。</li> <li>・ 「人がつくる、技を極める」（2・3年）では、日本の伝統工芸として、長崎のべっ甲細工が取り上げられ、郷土の伝統的な工芸文化を理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「体験しよう！美術館」（1年）では、長崎県美術館の展示やギャラリートークが取り上げられており、美を発見・発信することへの関心を高めることができる。</li> <li>・ 「色と光の特徴を知ろう」（1年）では、長崎市のランタンフェスティバルが紹介され、身の回りにおける光や色について、本県独自の文化と関連付けて理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「伝統の中の動物たち」（1年）では、郷土にゆかりのある「籠踊り」及び長崎県と関係の深い中国や韓国の「獅子舞」が紹介され、地域に受け継がれる伝統芸能やアジア文化の理解を深めることができる。</li> <li>・ 「新鮮な視点でとらえよう」（2・3年上巻）では、本県出身の昆虫写真家を取り上げられており、構図や表現方法の工夫について、郷土の豊かな自然と関連付けて理解することができる。</li> </ul>

具体項目

発行者		開隆堂出版	光村図書	日本文教出版
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長	(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年の「集める・試す・組み立てる」では、様々な材料や資料を集め、考えながら表し方を試し、組み立てていくという造形活動における基本的な手順を理解することができるよう工夫されている。</li> <li>各題材では、参考作品とともに「基礎的な技法や知識など」や「題材に関連する知識や情報など」を枠組みで示すことで、表現を支える知識や技能を習得できるよう工夫されている。</li> <li>巻末資料によって、表現を支える用具の扱い方や色彩などの基本的な知識、基礎的な技能を身に付けることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年の「美術って何だろう」では、小学校における造形経験や身に付けたことの振り返りを通して、中学校での学習に見通しをもつことができるよう工夫されている。</li> <li>各題材では、題材名の横に「Q」のマークを用いて生徒に投げかけるような問いがなされ、すべての題材において色や形、イメージなどに着目して表現や鑑賞ができるよう工夫されている。</li> <li>巻末資料では、表現を支える用具の扱い方や技法などを紹介するとともに、特に、「色と光の特徴」「形と材料の特徴」については、内容の充実が図られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年の「図画工作、そして・・・美術へ」では、小学校で身に付けたことを中学校での学習につなげるとともに、主題を見出して創造活動に取り組むことの大切さが理解できるよう工夫されている。</li> <li>表現領域の題材では、「参照」により、題材相互の関連が図られており、示された知識や技能を繰り返し使いながら習得することができるよう工夫されている。</li> <li>巻末資料は、表現、技法、色彩、鑑賞のそれぞれについて独立してまとめられ、基礎・基本の充実が図られている。</li> </ul>
	(2) 工な知識・技能を断力して活用し、課題等を解決するに必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>2・3年の「デザインで伝える」では、発想と構想のプロセスを具体的な図で示すことで、個人やグループで計画的に制作することができるよう工夫されている。また、参考となる芸術作品や生徒作品が充実している。</li> <li>鑑賞領域では、鑑賞のきっかけとなる問いかけを示すことで、生徒が作者の思いや表現の意図などについて自分の考えを確実にもち、互いに認め合うことができるよう工夫されている。</li> <li>各題材において、アイデアスケッチ、作品紹介カード、取材カード、レポート、ワークシートなどの活用例を示し、表現を豊かにするための言語活動につなげることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2・3年の「メッセージを伝えるポスター」では、環境問題を例に、制作の手順を写真と説明により分かりやすく示すことで、活動の見通しをもつことができるよう工夫されている。また、参考となる多くの芸術作品が掲載されている。</li> <li>各題材の「目標」の一つに、「～について話し合おう」といった言語活動にかかる事項を示すことで、互いの考えを尊重し、認め合うことができるよう工夫されている。</li> <li>各題材において、アイデアスケッチ、絵コンテ、鑑賞レポート、マッピング、メモなどの活用例を示し、表現を豊かにするための言語活動につなげることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2・3年上巻の「豊かなイメージで伝えよう」では、広告やポスター、本の表紙など、身の回りにあるデザインを例に、メッセージの伝え方には様々な方法があることを理解することができるよう工夫されている。</li> <li>各題材の「学びのねらい」の一つに、発達段階に応じて「～について語り合おう」「～について話し合おう」といった言語活動を位置付けることで、互いの考えを尊重し、認め合うことができるよう工夫されている。</li> <li>各題材において、アイデアスケッチやレポート等、まとめ方や活用例を示し、表現を豊かにするための言語活動につなげることができるよう工夫されている。</li> </ul>

## 具体項目

具体項目		発行者	開隆堂出版	光村図書	日本文教出版
観点	2 で の 特 長	(3) 習 主 慣 体 が 身 に 学 習 に 付 く よ う に 取 り 組 む 工 夫 さ れ て い る か。 学 習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年の「美しさの交流」では、主体的に美術作品に親しんだり、ワークショップ等に参加したりすることで、美術館の役割が体験的に理解できるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年の「体験しよう！美術館」では、美術館の取組や役割を理解することで、展示の意図に気付いたり、作品を深く味わったりすることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2・3年下巻の「美術館へ行こう」では、美術館の取組や役割、運営に携わる人々の姿に触れたり、ワークショップ体験をしたりすることで、美術館への興味・関心を高めることができるよう工夫されている。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2・3年の「デザインする心」では、地域での暮らしの中に生かせるデザインのアイデアをもち寄り、話し合いながらグループでまとめる活動を通して、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2・3年の「ともにつくる喜び」では、構想から制作まで生徒が共同して行う、ダイナミックな作品づくりを通して、主体的に制作に取り組むことができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2・3年下巻の「自分たちの生活の場を飾ろう」では、学校や地域の特徴を生かした空間デザインを考え、生徒が共同して制作に主体的に取り組むことができるよう工夫されている。</li> </ul>

## 具体項目

発行者		開隆堂出版	光村図書	日本文教出版
観点				
2 上での 学習指導要領 の特長	(4) 配感慮 慮した された された ことと や考え たこと から 主題を 生み出 して、 構想を 練ること ができる よう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年「心ひかれる風景」では、自然や人物、風景などを見つめ、お気に入りの理由や心をひかれたわけを考える題材を設定することで、主題を生み出し、自分らしく工夫して表現することができるよう配慮されている。</li> <li>・ 2・3年「わたしの『道』」「自分と向き合う」では、風景や人物から感じ取ったことを主題とした題材を設定することで、自分の構想に合った構図や表し方を工夫して表現できるよう配慮されている。</li> <li>・ 1年「写し取る形」、2・3年「版画の世界」では、様々な版や刷り、表し方を工夫して、主題に応じた表現ができるよう配慮されている。</li> <li>・ 1年「人の形のおもしろさ」「彫刻動物園」「不思議昆虫図鑑」では、人物や動物、昆虫など、対象となるものの姿や動きを観察することで主題を生み出し、様々な材料の特性を生かして表現することができるよう配慮されている。</li> <li>・ 2・3年「環境と響き合う形」「人の形に込めたもの」では、彫刻作品がつくり出す空間に関心をもたせることで、主題に応じて材料を選び、具象や抽象の形に表現できるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年「見て描く楽しみ」「心安らく私の風景」「人のしぐさを捉える」では、自然や風景、人物などを見つめ、お気に入りの理由やその表し方の具体例を分かりやすく掲載することで、主題を生み出し、自分らしく工夫して表現することができるよう配慮されている。</li> <li>・ 2・3年「見方を変えて」「情景、気持ちを重ねて」「自画像、今を生きるあなたへ」では、自然や風景、人物などを見つめて新たな発見を促す題材を設定することで、主題に応じた材料や用具を工夫して表現することができるよう配慮されている。</li> <li>・ 1年「写して表す版画の魅力」、2・3年「浮世絵から学ぶ江戸の職人技」では、木版画や紙版画を例に挙げ、主題に応じた彫りや刷りの効果を考えながら表現することができるよう配慮されている。</li> <li>・ 1年「見つけた、触れた、ひらめいた!」「形を丸ごと感じてみよう」では、自然や人物など、対象となるものをじっくりと観察し、それぞれの材料の特性を生かして本物らしく表現することを追究できるよう工夫されている。</li> <li>・ 2・3年「躍動感を捉えて」では、構成を考えたり、生命感や躍動感を強調したりすることで、様々な場面における一瞬の美しさをダイナミックに表現することができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年「見て感じて、描く」「なぜか気になる情景」「心に残ったできごと」「身近な人を見つめて」では、自然や情景、人物などから感じ取ったことを基に表現する題材を設定することで、主題を生み出し、形や色彩、材料などを工夫して表すことができるよう配慮されている。</li> <li>・ 2・3年上巻「新鮮な視点でとらえよう」「響き合う言葉と絵」、2・3年下巻「一瞬の光をとらえて」「私との対話」では、自然や人物への見方を変えることで得られる新鮮な感動から主題を生み出し、想像力を働かせて表現することができるよう配慮されている。</li> <li>・ 1年「刷って出会う美しさ」では、様々な版による表現の特徴を基に主題を考え、構図や色彩など効果的な表現ができるよう配慮されている。</li> <li>・ 1年「材料と対話して」では、五感を働かせて対象をとらえたり、材料の特性を生かして組み合わせたりして、自分らしい表現方法を工夫することができるよう配慮されている。</li> <li>・ 2・3年上巻「しぐさで語る動物たち」、2・3年下巻「イメージを形で表現しよう」では、生き生きとした動きや美しいと感じる動きからイメージをふくらませ、具象や抽象で表現することができるよう配慮されている。</li> </ul>

具体項目

観点		発行者	開隆堂出版	光村図書	日本文教出版
2 上での 学習指導要領の特長	(5) 伝えられる、使っているなどの目的や機能などをもとに、構想を練ることができるよう配	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年「生活を豊かに」では、身近なものや色彩、文字のデザインなどが生活に彩りと豊かさをもたらしていることを理解し、生活の中に生かすデザインを考えることができるよう配慮されている。</li> <li>・ 2・3年「デザインする心」では、ピクトグラム、パッケージやユニバーサルデザイン、マークなど生活の中にある様々なデザインを紹介することで、用と美を考慮したデザインのもつ目的や機能について理解することができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年「文様、飾りの小宇宙」「絵文字がしゃべりだす」では、身近な日用品などに見られる文様や絵文字の美しさとともに、使用目的や、組み合わせ、場所に応じた活用の仕方などを考えることで、生活をより豊かに工夫することができるよう配慮されている。</li> <li>・ 2・3年「季節感のある暮らしを楽しむ」「包みの工夫、パッケージデザイン」「暮らしやすい町づくり」「夢を形にするデザイン」では、ピクトグラム、パッケージやユニバーサルデザイン、キャラクターなど生活の中で役に立つデザインをはじめ、人々の夢を叶え、問題を解決するためのデザインを紹介することで、デザインのもつ目的や機能について理解することができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年「デザインの扉を開こう」「楽しく伝える文字のデザイン」「記憶に残るシンボルマーク」では、生活の中にある様々な文字のデザインやシンボルマークなどがもつ効果的にものを伝える働きを理解することで、目的や機能に着目したデザインを考えることができるよう配慮されている。</li> <li>・ 2・3年上巻「情報をわかりやすく伝えよう」「やさしさのデザイン」「座ることから考える」、2・3年下巻「魅力が伝わるパッケージ」「デザインで変える現在と未来」では、ピクトグラム、パッケージやユニバーサルデザインなど生活の中で役に立つデザインをはじめ、地域の問題を解決したり、未来を志向したりするためのデザインを紹介することで、デザインのもつ目的や機能について理解することができるよう配慮されている。</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年「材料を生かして」では、竹や木、土などの自然材料を生かし、使うもの、飾るもの、遊ぶものなど目的や機能を明確にした作品を構想することができるよう配慮されている。</li> <li>・ 2・3年「光と明かり」では、空間を演出する光の効果について理解することで、目的や機能に合う材料を選び、場所や形、色などを工夫することができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年「木のぬくもりと暮らす」「生活の中の焼き物」では、生活を美しく心豊かにする木や焼き物の魅力と制作手順を詳しく掲載することで、その目的や機能を理解し、見通しをもって制作することができるよう配慮されている。</li> <li>・ 2・3年「光と影で遊ぶ」「心をともし明かり」では、光の見え方を試して発想を広げ、目的や機能に応じて形や色、明かりの効果を考え、表現することができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年「使いたくなる焼き物をつくろう」「暮らしに息づく木の命」では、土の感触を楽しんだり、木肌や木目の美しさに着目したりすることで、焼き物や木の特性を生かしながら、見通しをもって制作に取り組むことができるよう配慮されている。</li> <li>・ 2・3年下巻「光と影の空間演出」では、陰影や照明の効果を考え、構想を練ることで、目的や機能に応じ、材料や演出方法を工夫して表現することができるよう配慮されている。</li> </ul>	

具体項目

発行者		開隆堂出版	光村図書	日本文教出版	
観点	2 な学 習指 導要 領の 育成 を図 る上 での 特長	(6) か。感 性美 術文 化に ついて 作品 を味 わい、 生活 の中 の美 術の 働き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年の「比べてみよう」、2・3年の「ゴッホと日本」では、日本と外国の作品を比較することで、文化や表現方法の共通点や相違点に気づき、日本や世界の美術文化に対する理解が深まるよう配慮されている。</li> <li>・ 2・3年の「生きることと美術」では、表現することの大切さや美術の目的について考えることを通して、社会における美術の役割やその影響などを理解することができるよう配慮されている。</li> <li>・ 美術の流れを日本、中国、アジア、西洋の4つの視点でとらえ、さらに仏教美術や屏風絵、絵巻物などを紹介することで、日本の美術文化への関心を高めることができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「特別展示室」を設け、「自然と人と」(1年)、「明日への願い」(2・3年)といったテーマで美術作品と詩を観音開きの大画面に掲載することで、視覚と言語を関連付けた鑑賞ができるよう配慮されている。</li> <li>・ 2・3年の「暮らしやすい町づくり」では、暮らしやすさをキーワードにすることで、町の機能やデザイン、自然との共生について考えたり話し合ったりすることができるよう配慮されている。</li> <li>・ 美術の流れを日本、朝鮮、中国、世界の4つの視点でとらえ、さらに「アジアをつなぐ仮面の舞」(1年)、「北と南の風土から」(2・3年)などの資料を掲載することで、アジアの美術文化への関心を高めることができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各冊に、「教科書美術館」を設け、「花の生命」(1年)「東へ西へ」(2・3年上巻)「刻まれた祈り」(2・3年下巻)といったテーマで美術作品を掲載することにより、美術文化への関心を高めることができるよう配慮されている。</li> <li>・ 2・3年上巻の「まちを彩るパブリックアート」では、身近な公共空間を観察し、その場所や建物と作品が発するメッセージを感じ取ることで、生活の中の美術の働きについて理解することができるよう配慮されている。</li> <li>・ 美術の流れを中国、日本、西洋の3つの視点でとらえ、さらに「伝統の中の動物たち」(1年)、「日本の美意識」(2・3年上巻)、「日本の世界文化遺産」「受けつぎつくる人の姿」(2・3年下巻)などの題材を設定することで、日本の美術文化への関心を高めることができるよう配慮されている。</li> </ul>

具体項目

発行者		開隆堂出版	光村図書	日本文教出版
観点 3 学習効果や表現や使いやすさ、見やすさ等、ユニバーサルデザインの視点からの	(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒作品については、考えや感想、解説を簡潔に記し、作家の作品については「作者の言葉」を設けることで、表現の意図についての理解を促し、それぞれの作品を味わうことができるよう配慮されている。</li> <li>表現や鑑賞の活動に関する各題材の冒頭では、文末を「～してみましょう」と表記することで、生徒が主体的に取り組むよう配慮されている。また、小見出しを用いて文章を整理することで、活動内容や制作の過程が分かりやすくなるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒作品及び作家の作品については、「作者の言葉」として作者の思いや願いを表記することで、作者の感動に共感して作品を味わうことができるよう配慮されている。</li> <li>表現や鑑賞の活動に関する各題材の冒頭では、文末を「～しよう」と表記することで、学習に主体的に取り組む意欲を高めるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒作品及び作家の作品については、「作者の言葉」として表現に至るまでの思いや願いを記すことで、主題を生み出すことの大切さを理解して作品を味わうことができるよう配慮されている。</li> <li>表現や鑑賞の活動に関する各題材の冒頭では、文末を「～しよう」と表記することで、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。また、小見出しを用いて文章を整理することで、活動内容や制作の過程が分かりやすくなるよう配慮されている。</li> </ul>
	(2) れも写っている学習内容との関連や学習意欲を高めることと	<ul style="list-style-type: none"> <li>一つの題材について表現方法が異なる生徒作品の写真を数多く掲載し、題材の広がりを見ることができるよう配慮されている。</li> <li>鑑賞に関連する題材では、鑑賞のきっかけとなる問いかけを円形の枠の中に記すことで、生徒の活動を促し、主体的に学ぶことができるよう工夫されている。</li> <li>各題材では、学習内容と関連した基礎的な技法や知識、情報を枠囲みで分かりやすく掲載することで、生徒が効果的に学習できるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関連する造形作品や作家の写真を適宜掲載し、テーマを追求する過程をとらえて表現への意欲を高めることができるよう配慮されている。</li> <li>表現に関連する題材では、発想や構想を広げるための助言に電球のマークを付けることで、生徒が主体的に学ぶことができるよう工夫されている。</li> <li>ページの右下に矢印を付けて、「学習を支える資料」の掲載箇所を示すことで、表現にかかわる様々な知識や技法に関心をもつことができるよう工夫されている。また、道徳と関連する内容については、ハートマークにより分かりやすく示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイデアスケッチの写真を適宜掲載することで、発想から完成までの過程やその間の工夫を参考に、表現への意欲を高めることができるよう配慮されている。</li> <li>表現に関連する題材では、「POINT」として、発想や構想、表現の幅を広げるためのヒントを示すことで、生徒が主体的に学ぶことができるよう工夫されている。</li> <li>「参照」として関連のあるページを示すことで、既習事項を想起させたり、題材どうしを関連付けたりすることができるよう工夫されている。また、道徳と関連する内容については、三つ葉のマークにより分かりやすく示されている。</li> </ul>

具体項目

観点		発行者	開隆堂出版	光村図書	日本文教出版
3	<p>・ 1年用と2・3年用の2冊構成とし、題材間で関連する学習内容を合わせて一つの題材とするなど、表現領域と鑑賞領域の関連や系統性を踏まえて学習することができるよう工夫されている。</p> <p>・ 大きさはA4判で、一題材を見開き2～8ページで掲載し、参考作品については、作家の作品から生徒作品へと写真を配置することで、鑑賞から表現へと効果的に学習できるよう工夫されている。また、芸術作品を原寸大で掲載することで、生徒がより作者の思いを感じることができるよう配慮されている。</p>	<p>(3)</p> <p>は挿絵、レイアウトや紙質、製本等が、文字の大きさ、</p>	<p>・ 1年用と2・3年用の2冊構成とし、1年では表現の基礎・基本の定着を図るための題材を、2・3年では、歴史や社会との関係に視野を広げることを重視した題材を配列することで、発達段階に応じた学習が行えるよう工夫されている。</p> <p>・ 大きさはA4判で、基本的に一題材を見開き2ページで掲載し、参考作品については、作家の作品及び生徒作品を大きさやレイアウトを工夫して掲載し、効果的に活用できるよう工夫されている。また、芸術作品を原寸大で掲載することで、生徒がより作者の思いを感じることができるよう配慮されている。</p>	<p>・ 1年用と2・3年用(上・下)の3冊構成とし、自己、生活、社会・自然・環境という学年の発達段階に応じたそれぞれのステージを通して、表現や鑑賞の能力をバランスよく高めることができるよう工夫されている。</p> <p>・ 大きさは通常より横幅が2cm長いA4変形判である。基本的に一題材を見開き2ページで構成、参考作品については、生徒作品を多く掲載し、親しみやすく効果的に活用できるよう工夫されている。また、芸術作品を原寸大で掲載し、なおかつ紙質を変えることで質感を高め、本物のよさを感じ取ることができるよう配慮されている。</p>	